

## 特許出願公告及特許拔萃

### 特許出願公告拔萃

**熱處理せる捲線状の中位或は高率の炭素含有鋼針金棒の製造に関する改良** (9年特許公告第4559號、公告9-12-3、英國、ゼホワイトクロス・コムパニー・リミテッド) 所望組織にして全長に互り適當の均質組織を有する捲線状の冷桿製造すべき特に熱効率良好なる方法を提供する目的を以てロールより來れる桿を熱の左程の損失なくして適當なる熔融鹽類或は其他の媒質を含有する急冷浴へ導き該浴内に設置せる装置によりて上記桿を捲線状となすことより成る捲線状の中位或は高率の炭素含有鋼桿製造方法。

**金屬酸化物還元装置の改良** (9年特許公告第4576號、公告9-12-3、亞米利加合衆國、ウイリアム・ヘンリー・スミス) 給熱源の度高きにも關せず還元帶域を一豫定溫度に維持し處理金屬の熔融なからしむる目的を以て鑛石及還元劑を連續的に通する數多のレトルトの組合せより成り該レトルトは相當間隔に相並列し隣接レトルト間に於てレトルトの頂及底の間に一定水平帶域に加熱装置を備へ以て鑛石の通路内の豫定水平に一定の還元帶域を設定し該加熱装置は互に別個にして鑛石流にて圍繞せられ斯くて全熱量を鑛石の連續移動に依り吸收せられ該加熱装置は異なる水平に装置せられ以て主還元帶域内に補助還元帶域を構成する鑛石還元装置に於て該加熱装置及其熱供給はレトルト壁より離隔せられ以てレトルト壁の周圍に蓄熱室即ち溫度平均帶域を備へ之に依り加熱装置にて生ずる比較的高き溫度はレトルト壁の周圍にて平均及低下せられ鑛石が還元帶域を通過する際熔解せらるべき高溫度を防止する用を爲す鑛石還元装置

**亞鉛末より亞鉛電解精製用陽極を得る方法** (9年特許公告第4583號、公告9-12-3、東京市、三井鑛山株式會社) 緻密にして硬き組織を有し且電氣抵抗極めて低く電解精製に供するに適當なる電氣化學的性質を具備する亞鉛末陽極を得て電解精製に依り極めて純粹なる電氣亞鉛を得んとする目的を以て亞鉛末を10%~100%濃度の硫酸又は鹽酸にて處理し次で此の處理液の大部を流出せしめて除去したる後硼酸、拘攣酸、蓆酸又は之に類する弱電離性酸と混合したる硫酸又は鹽酸の0.1~3.0%の範圍に於ける前記處理液より稀薄なる溶液を加へ該液の大部を流出せしめ得たる泥狀物を水壓機又は他の壓縮機により壓縮し板狀又は棒狀の陽極となすことを特徴とする亞鉛末より亞鉛電解精製用陽極を得る方法。

**鑄鐵用電氣熔接棒** (9年特許公告第4595號、公告9-12-5、大阪府、岡田實) 從來の鑄鐵用熔接棒に比し電氣抵抗を約 $\frac{1}{2}$ に減少せしめて熔融速度を減し熔接熱を有效ならしむることにより熔込みを大にして黒鉛化を優秀なる鑄鐵熔接を得んとする目的を以て鑄鐵の電弧熔接に於て可鍛鑄鐵棒を用ふることを特徴とする鑄鐵用電氣熔接棒。

**珐瑯鐵器面に光彩模様を形成する方法** (9年特許公告第4597號、公告9-12-5、大阪市、日本エナメル株式會社) 皿、洗面器など各種の珐瑯引鐵器面に薄層にして美麗而も剥落褪色等の虞なき光彩模様を頗る簡易且つ經濟的に形成せんとする目的を以て施釉燒成したる普通の各種珐瑯鐵器を500~600°Cの赤熱狀態に保持し之が所要面に金屬の鹽化物の一種若しくは其の數種を混和したるものをアルコールにて溶解したる溶液中に硼酸と砒鉛を主體とし之に燧石末と曹達の適量を混和配合したる珐瑯釉藥の微粉末適量を混和したるものを適宜手段にて吹き付けることを特徴とする珐瑯鐵器面に光彩模様を形成する方法。

**ニッケル鍍金工業に於て陽極として使用するニッケル板の製造方法** (9年特許公告第4641號、公告9-12-7、諾威・フアルコンブリッヂ・ニッケルフェルグ・アクチエセルスカプ) 從來の方法より簡易に施行せられ且均一的に優秀なる製品を確實に得らるる方法を得んとする目的を以てニッケル鍍金工業に於ける陽極として使用し得るニッケル板の製造方法に於て金屬ニッケルを侵さざる性質を有する鹽類例へば鹽化曹達化加里鹽化石灰炭酸曹達若しくはそれ等の混合物に金屬表面上に附着せる酸化物及其他の金屬化合物を熔解除去し得る物質例へば少量の硼砂硼酸などを加へるか或は加へずして成る鹽類の融成物中に於て電解により得たるニッケル板を暫時燒鈍せしめたる上該板を該鹽類融成物中より赤熱狀態の儘取出し次いで冷水中に浸漬せしむることを特徴とするニッケル鍍金工業に於て陽極として使用するニッケル板の製造方法。

**金屬體鑄造装置** (9年特許公告第4703號、公告9-12-12、大阪府、岡野宗太郎) 遠心力を應用して金屬體を鑄造するに當り鑄造體に直接遠心力を與ふることを避け鑄造型外に於て熔融金屬に遠心力を加ふることにより抑湯効果を與ふべくなし且つ熔融金屬の供給を各部均等ならしめ以て正形均質の鑄造體を同時に多量に製造せんとする目的を以て周圍に傾斜面を形成する凹溝を具ふる熔融金屬配給圓板を廻轉せしめその中心に前記圓板と獨立に廻轉する熔融金屬供給皿を設け其皿の熔融金屬を受け止めて之を前記圓板の凹溝内に供給すべく凹溝の上部に環狀の遮壁を固定し且つ圓板の周縁に沿ひて之と一定の間隙を保持する如く環狀の共通湯口を具ふる環狀の鑄造型を固定したることを特徴とする金屬體鑄造装置。

**微細金屬硫化物含有材料** (9年特許公告第4706號、公告9-12-12、アメリカ・レイモンド・フォス・ペーコン) 微粉硫化鐵或は浮遊精汰硫化鐵より硫黃を回収する改良方法を得る目的を以て黃鐵礦中の不安定硫黃を蒸解し以て生ずる硫化第一鐵を酸化せしめて二酸化硫黃を組成し其後に於て該二酸化硫黃を元素硫黃に還元することに依て該黃鐵礦より元素硫黃を製成する方法に於て微粉形態の硫化第一鐵を高昇溫度に於て酸化瓦斯の對流中に懸浮せしめて二酸化硫黃を製成し又斯く製成したる二酸化硫黃を之れが製成溫度より低からざる溫度に於て還元劑と接觸して通過せしめ以て元素硫黃を製成することを特徴とする硫黃回収方法。

**アルミニウム又はアルミニウム合金の防銹法** (9年特許公告第4870號、公告9-12-24、東京、橋本温) 製品の内部組織を破壊する事なく單時間に緻密にして光澤を有する防銹被膜を經濟的に形成せしめんとする目的を以て少量の硫酸及硼酸を含む電解液内に於て一方の電極としてAl又はその合金の製品を他方の電極として製品の表面積よりも大なる表面積を有するAl板を吊し100V内外の電壓を有する交流を通ずることを特徴とするAl又はAl合金の防銹法。

**金屬と接觸する水性液に附加せらるる腐蝕防止劑** (9年特許公告第4871號、公告9-12-24、和蘭・ナムローゼ・フェンノーチアツプ・デ・バターフシエ・ペトロリウム・マーチアツビー) 水を含有する液體が金屬と接觸して之に上記の如き作用を及ぼし此金屬より成る装置の操作に支障を與へるが如き缺點を簡易に防止し得べき腐蝕防止劑を得んとする目的を以て腐蝕及び又は垢皮或は沈澱物の形成を防止するためなるべく沸騰點以下の溫度に於て金屬と接觸する水性液に附加せらるる腐蝕防止劑に於て鑛物油となるべく油

溶性なる鐵物油サルフォン酸のアルカリ鹽類との混合よりなる腐蝕防止劑。

**焙燒用堅爐の連續的排出裝置** (9年特許公告第4886號、公告9-12-24、關東州、山崎長七) 連續的に焙燒したる材料を排出することによりて堅爐内の最高加熱帶を常に一定の高溫度に保ちつつ均質なる焙燒物を得んとする目的を以て堅爐の底部に下邊に數個の凹部を有する内圓錐筒を定着し該内圓錐筒の外部に回動し下邊に前記凹部と相一致する凹部を有する外圓錐筒を密接せしめ前記外圓錐筒の下邊開放部に内圓錐筒の中心軸に偏心的に回動せしめ且つ上下動し得る圓錐形の底盤を臨ましめたる焙燒用堅爐の連續的排出裝置。

**中空鋼桿製造方法** (9年特許公告第4898號、公告9-12-24 東京、東京鋼材株式會社) 中空孔の壁面頗る平滑にして鑿岩機の鑽等として使用する際切損の原因となるべき中空孔内面の凸凹を存せざらしむる目的を以て粗鋼片の内部を中空にし之に中子を充填し加熱後壓延機によりて所要寸法に壓延したる後中子を除去する方法に於て中子の材料として酸化クロム粉を使用することを特徴とする中空鋼桿製造方法。

**純銀に近き銀合金** (9年特許公告第4900號、公告9-12-24、東京、杉山賢) 銀細工製作に際し銀固有の色澤を損せずして延展性彈力性を有し且つ能く高熱の鑄着に適應せしめ銀器製作を容易ならしむる目的を以て Cu、Ni 及 Zn の各 0.1%~1% 及 Ag 98% 以上を含有する純銀に近き銀合金。

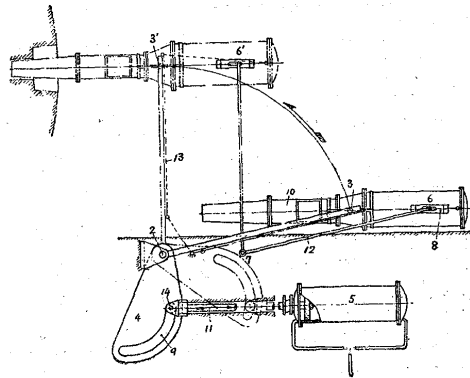
**材料試験機に於ける唧子及唧筒** (9年特許公告第4920號、公告9-12-26、東京市、石川悦治) 粗材にシーズニングすることなく製作簡易にして腐蝕並に磨滅に耐へ耐久性に富み且簡易迅速真に緻密なる材料試験機を得んとする目的を以て材料試験機に於ける唧子及唧筒の素材に炭素の含有量 % 0、以下の軟鋼を使用し之を大體正寸法に仕上げてその仕上面に Cr の皮膜を鍍金により構成せしめその構成せる鍍金層を精密研磨により仕上げたることを特徴とする材料試験に於ける唧子及唧筒。

**マグネシウム及其合金の防蝕法** (9年特許公告第4943號、公告9-12-28、大阪市、住友伸銅鋼管株式會社) Mg 及び其合金の食鹽水に對する對蝕性を充分ならしめんとする目的を以て Mg 又はその合金を電極として Se を溶解したるアルカリ溶液を電解することによりて Mg 及び其合金の表面に防蝕被膜を生成せしむる方法。

**アルミニウム青銅齒車粗材鑄造裝置** (9年特許公告第4946號、公告9-12-28、東京市、後藤潤五) 青銅に比し收縮率高く殊に鑄込の際酸化物即熔滓を多量に生ずる Al 青銅に於て其鑄造品に氣泡による鑄巢及熔滓による鑄疵を絶対に包含することなく且製品各部に於て從來の製品に比し非常に高き硬度を而も均等に有する自動車用齒車粗材を多量製産的に廉價に得んとする目的を以て廻轉鑄型定盤上に下金型輪狀中金型及截頭錐筒狀の上り湯口を突設せる上金型を順次載表し該上下兩金型の間前に前記中金型と等しき高さを有し且放射狀に設けたる小湯口は上り湯口と相俟つて形成する中央凹部湯溜部と互に相通せしめたる保熱砂型中子を不動狀態に嵌置く前記上下兩金型を緊締して成るアルミニウム青銅齒車粗材鑄造裝置。

**出銑口閉塞機** (9年特許公告第4952號、公告9-12-28、東京市、日本製鐵株式會社) 設備簡易にして而も有效確實に所要の位置に誘導し得る出銑口閉塞機を得むとする目的を以て閉塞機がカムによるスライディング・レシプロケーション運動によりて廻動によりて廻轉する支腕材に懸吊され且つ其廻轉運動中閉塞機の一部に取

第2圖



付けたるロッドが圖示の如き支腕材の部分と共に平行四邊形を構成することによりて閉塞機の中心線の方角を常に一定ならしむることを特徴とする作業位置に強制的に誘導せしめらるゝ出銑口閉塞機。

**金屬整流器製造方法** (9年特許公告第4954號、公告9-12-28 東京市、妹尾功外一名) 上記の方法により能率よき金屬整流器を製作せんとする目的を以て銅母體上に燒成せられたる酸化銅の内表面に形成せられたる酸化第二銅を除去して酸化第一銅を露出せしめ該酸化第一銅面を油中に浸漬して油を結晶面に吸着せしめ次第に斯くなしたる表面を磨擦によりて容易に粉末となし得べき金屬を以て磨擦し該金屬を粉末となすと同時に該操作によりて酸化第一銅表皮部を削りて細末としな此細末と油との混合によりて生ずる混合物質と上記粉末金屬の混合物を酸化第一銅面に沈着せしむる事を特徴とする金屬整流器製造方法。

特許抜萃

特許番號	名稱	特許權者	公告抜萃掲載本誌番號
108275	寫真製版用亞鉛合金	株式會社神戸製鋼所	
108285	不等厚中空管製造方法	權藤薰平	20年8號
108316	廢熱利用發炭製造爐	小松大助	なし
108323	アルミニウム又はアルミニウム合金を以て被覆したる耐蝕性マグネシウム又はマグネシウム合金の製造方法	古河電氣工業株式會社	20年8號
108350	低壓低溫蒸溜による連續的硫黃製煉法	前野清久	〃〃
108371	酸化鑛石の處理法	マイヤー・ミネラル・セパレイション・コンパニー	〃〃
108435	アルミニウム、ニッケル及クロムを含有する磁石鋼	三島徳七	20年6號
108457	硝子、金屬岩石質等の輕量性體を製する方法	元木秀一	20年7號
108474	珪素の含有高き無炭素若は炭素の含有極めて少き鑄鐵合金	嘉村平八	〃〃
108501	青化收金裝置の改良	神田禮治	20年9號
108514	亞酸化銅整流器製造法	株式會社日立製作所	20年8號
108541	煉炭脫臭硬化料の製造方法	村松源作	なし
108542	内燃機關燃料油添加劑製造法	上田由次	なし
108555	煉炭製造法	三鱗無煙炭株式會社	〃
108556	極硬質工具の製造法	フランスチール、プロダツクコンパニー、インコーポレーテッド	20年7號
108561	耐蝕性大なる強力輕合金	航空研究所長	20年10號
108423	炭燒法	島田謙吉	なし